

令和2年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和2年9月18日（金曜日）

○日時 令和2年9月18日 午後1時45分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第7号 令和2年度網走市一般会計補正
予算中、所管分

○出席委員（7名）

委員 長	永 本 浩 子
副 委 員 長	近 藤 憲 治
委 員	金 兵 智 則
	工 藤 英 治
	平 賀 貴 幸
	古 田 純 也
	村 椿 敏 章

○欠席委員（0名）

議 長	井 戸 達 也
-----	---------

○傍聴議員（5名）

石 垣 直 樹
小 田 部 照
川 原 田 英 世
澤 谷 淳 子
松 浦 敏 司

○説明者

副 市 長	川 田 昌 弘
健康福祉部長	桶 屋 盛 樹
健康推進課長	永 森 浩 子
健康福祉部参事	細 川 英 司

○事務局職員

事 務 局 長	武 田 浩 一
次 長	伊 倉 直 樹
総務議事係長	神 谷 浩 一
総務議事係	早 渕 由 樹

午後1時45分開会

○永本浩子委員長 ただいまから文教民生委員会を
開会いたします。

本日の委員会ですが、付託されました議案1件を
審査いたします。

それでは、議案第7号令和2年度一般会計補正予
算中、当委員会所管分のツインデミック予防対策事
業について説明を求めます。

○永森浩子健康推進課長 議案資料4ページ、資料
6号を御覧願います。

令和2年度一般会計健康管理費補正予算、ツイン
デミック予防対策事業につきまして御説明いたしま
す。

1の補正の理由及び内容であります。国の新型
コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活
用し、新型コロナウイルス感染症が長期化する状況
において、新型コロナウイルスと季節性インフルエ
ンザの同時流行するツインデミックを見据え、円滑
な医療提供体制を維持するため、次の経費を追加補
正するものであります。

季節性インフルエンザにつきましては、ワクチン
接種により蔓延及び重症化予防に対する効果が期待
されることから、接種率の上昇が見込まれる高齢者
及び子供に対する接種費用の一部または全部を助成
するとともに、感染リスクの高い医療福祉従事者の
予防接種を勧奨するため、接種費用の一部を助成す
るものであります。

内容につきましては、事務用消耗品として12万
円、郵便料及び市民周知用チラシ配布費用として18
万円、高齢者及び子供のインフルエンザ予防接種費
用として4,665万8,000円、市内における医療及び介
護障がい福祉サービス従事者のインフルエンザ予防
接種費用に対する一部助成として200万円、合計で
4,895万8,000円となります。

対象者及び助成額であります。高齢者につつま
しては8,500人の対象を見込み1人当たり2,850円の
助成、子供につきましては3,750人の対象を見込み
全額助成、医療等の従事者につきましては2,000人
の対象を見込み1人当たり1,000円の助成となりま
す。

2の補正額であります。歳出予算における補正
前の額、補正額、財源内訳、補正後の額につつま
しては（1）歳出予算に記載のとおりとなります。

歳入予算における科目ごとの補正前の額、補正

額、補正後の額につきましては（２）の歳入予算に記載のとおりとなります。

以上で説明を終わります。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○金兵智則委員 内容については大方わかりました。

ちょっと確認だけさせていただきます。

それぞれ高齢者、子供、医療従事者の対象人数を教えてくださいましたけれども、これはその対象見込みというのは、対象者全ての数ということでよかったのですか。

○永森浩子健康推進課長 対象者全ての数でよろしいと思います。

○細川英司健康福祉部参事 お答えいたします。高齢者につきましては、1万1,223人を見込みまして、こちらが総数になります。

これに接種率を75%と見積もりまして、おおよそ8,500人を見込んでおります。

子供につきましては、こちらの接種回数が年齢によって異なるのですが、幼児から中学生までの接種率を85%と見込みまして、また高校生の接種率を65%程度と見込んでおります。

人数につきましては、幼児から小学生としまして2,400人ほど、中学生から高校生で1,300人ほどを見込んでおります。

医療従事者につきましては、それぞれこちらから照会をかけまして、職員数等を聞き取りまして積算し、おおよそ2,000人ほどを見込んでおります。

○金兵智則委員 医療従事者については対象者全員分だと、高齢者と子供については接種率から割り出して全員分ではないけれども、このあたりでということなのではけれども、多分接種率もいつもの年に比べれば高く設定されているのだと思います。

それはコロナに関することもあり、また市民周知及び郵便料というのもちろんと計上されていますので、今までより一歩進んだ周知もあるのかなというふうに思いますけれども、その辺についてどうなのかなと思ひまして伺います。

○細川英司健康福祉部参事 高齢者及び子供の分につきましては、チラシ等での周知を考えております。

それと、主に通信関係の費用なのですが、こちらにつきましては、医療従事者分の各医療機関等へ対します申請書等の送付などの費用を見込んで

おります。

○金兵智則委員 市民周知のチラシで接種率を上げていこうと、できるだけ多くの方に今年度に限ってということはないですけども、今年に限っては特により高くしていく必要があるのかなというふうに思いますけれども、例年でいけば10月位からインフルエンザ接種が始まってくるのかなというふうに思いますけれども、接種率を高くすればした分だけインフルエンザワクチンが揃うのかなという心配も出てくるのですけれども、その辺についてもし押さえていることがあればお示しいただければと思います。

○細川英司健康福祉部参事 ワクチンについてなのですが、確認をとりましたところ一部市内の医療機関にもう既に入り始めているということで、一篇に多数ということではなく、段階的にこれから徐々に必要な数が入ってくるものと想定されます。

○金兵智則委員 わかりました。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○平賀貴幸委員 対象の範囲のこと、ちょっと今質疑あったのですが、ほかの自治体だと例えば妊婦が入ったりだとか、ほかにも対象者が広いと思うのですが、網走市でこの対象にした理由というのはどんな考え方なのですか。

○永森浩子健康推進課長 国からはですね、優先接種対象者ということで高齢者と基礎疾患のある方、あと小さな子供と妊婦と示されておりますが、網走市としましては、医師会のほうともよく相談の上ですね、対象者については決定しております、今まで実施していた高齢者、子供についてはそのまま実施ということで、あと妊婦ですとか、基礎疾患を有する方も検討したのですが、なかなか基礎疾患を有する方についての基礎疾患の基準というのも国から示されていない中、なかなか医療機関で判断するのが難しいですとか、妊婦さんも受ける方もいらっしゃるかもしれませんが、なかなかその体調によっては受ける方も少なくということで、受けていただける方は御希望で先生と相談の上受けていただくということで、今回は対象にはしないということで、医師会と相談の上決めました。

○平賀貴幸委員 理解させていただきました。

万が一の場合を伺うのですけれども、このワクチンはどうしてもその一定の確率で副作用があるのだと思います。

それで発熱が起きるような場合もありますよね。

そのときに、なかなかその何の発熱かわかりづら
いときがあるのですけれども、9月4日の国からの
通知を見ると、10月から体制が変わるみたいなの
ですけれども、その場合はどうするみたいなこと
を書きながら周知しなければいけないのだらうと
思うのですけれども、その辺はどういう配慮を
される予定なのでしょうか。

○永森浩子健康推進課長 基本はインフルエンザ
ワクチンを受けた医療機関に相談、受けた後に
何か症状があった場合には、相談していただ
くということがよろしいかと思ます。

今コロナの関係もあって、これから発熱患
者さんが増えていくところで、医療機関とも
いろいろ相談はさせていただいてまして、熱
のある患者さんについても、相談には乗って
いただけるということでありましたので、そ
のような形で対応していただくことになるか
と思ます。

○平賀貴幸委員 わかりました。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませ
んか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではお諮りいたします。

議案第7号令和2年度網走市一般会計補正予
算中、所管分のツインデミック予防対策事
業については、全会一致により原案可決す
べきものとして決定してよろしいでしょ
うか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではそのように決定されました。

各委員、理事者より何かございませ
んか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですので、これで文教民生委
員会を終了いたします。

お疲れさまでございました。

午後1時56分閉会
